

# 子どもの就職に関する保護者の意識調査

## 報告書

### 目次

I 調査の設計	1
II 回答サンプルの内訳	3
III 調査表	43

長野県上伊那地域振興局  
企画振興課

## I 調査の設計

### ◆ 調査の目的

近年、地方における若者の人材不足が課題となっている中、当局では、伊那職業安定協会や市町村、上伊那広域連合と連携し、Uターン就職の促進等に取り組んでいる。

経団連が 2021 年春入社以降の新卒者を対象として就職・採用活動のルールを廃止するなど、就職環境の変化が激しい中でも、多くの方に安心して地元就職を考えてもらえるよう、ニーズにあった支援策を導入する必要があると考える。

そこで、まずは大学生などの子どもがいる保護者に対して地元就職への意識を調査し、今後の施策等の基礎資料とすることを目的とする。

### ◆ 調査の設計

- ▽調査対象 上伊那郡在住の現在、大学・短大・専門学校に在学中のお子様がいる保護者  
613 人
- ▽調査方法 郵送
- ▽調査期間 令和 2 年 2 月 14 日～令和 2 年 2 月 27 日

### ◆ 回収結果

- ▽有効回答数 120 人（回収率 19.6%）

<注> 報告書のパーセント数字は小数点第 2 位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。  
対象者が少ない回答は参考値である。

## ◆ アンケート結果のサマリー

今回のアンケートでは、上伊那郡在住の大学・短大・専門学校に在学中のお子様がいる保護者 613 人を対象に、地元就職について調査したアンケート結果を集計分析しました。

### 【企業】

新卒時、子どもが上伊那地域での就職を望む保護者は全体の約 76%と高い割合を占めている一方で、子どもの上伊那地域での就職希望は全体の半数程度（推測）にとどまっています。また、適する就職先がない、（地元以外の）いろいろな場所を知ってほしいとの意見も見受けられました。

経営の安定（約 21%）や大学等で学んだ専門性を活かせる職場（約 21%）、社風や雰囲気の良い職場（約 17%）を望む声も多い中で、企業としても、経営安定化、保護者や就職希望者へ向けた企業側の情報発信、企業見学（21.7%）等の実施に加え、魅力ある職場づくりも今後、さらに必要になると考えます。

### 【行政】

保護者の子どもに対する関心の高さ（99%以上）、就活イベントへの関心度の高さとは反対に、上伊那地域で開催されている就活イベントへの参加率は約 15%と低くなっていることから、保護者や子どもに向けた積極的なイベント等の開催や、それに向けた情報発信が必要になってくると考えます。

更に、魅力ある企業を育成するための地元企業への就職に関する支援、企業の経営安定や向上に向けた取組み等も必要になってくると考えます。

### 【保護者】

就職に対する考え方、価値観は保護者、子どもともにますます多様化しています。親子間の会話は約 78%と高い割合になっていますが、僅かではあります子どもの就職に関心がないといった意見もあります。

また、就職先は子どもに任せる（64.8%）という意見が多い一方で、上伊那地域で就職するよう説得する（4.5%）といった意見もありました。

保護者自信が地域企業の魅力を知り、子どもたちとのコミュニケーションを深めることが地元就職への第一歩であると考えます。

子どもの意思を尊重できる親子関係、地元への愛着心を育める親子関係を築いていくことが最も重要であると考えます。